

市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成26年11月20日（木）午後7時30分～9時
会場	西根下河原集落センター
地域座談会の内容（意見交換等の内容等）	
<p>① 下河原下町会の通学路を広くしてもらいたい。ただし、まだ当初計画の半分しかできていない。住宅の中の方の整備は当然お金も多くかかると思うが、道路自体が狭く、車は待機していないとすれ違えない状況である。</p> <p>→ 相当数の住宅にかかるので、先に地元の皆さんの合意が必要である。また、公民館にもかかるが、地元で先まで伸ばしたい意向なら検討していきたい。</p>	
<p>② 以前から内回りバイパスの計画があるが、現在、西根小の前の道路まで完成した。陵東中までの計画と聞いているが、できるだけ早期にお願いしたい。</p> <p>→ 都市計画道路については、地域の要望もあるが、市が計画した図面にも載っており忘れたわけではない。現在、市立病院前の道路を拡幅整備中であり、そちらが終わったら取りかかる考えである。国の予算はわからないところがあるが、都市計画プランの見直しをして、計画を進めてまいります。</p>	
<p>③ ほなみ団地から市役所に都市計画道路が開通してから、西根小学校の通学路の交通量が多くなり、見守り隊で立哨してみると非常に危ない。道路が開通すれば安全施設も必要になるが、それまでの対策として専門の交通指導員を配置してもらえると安心感もある。西根小学区の今の配置を見直して、危険個所に集中的に配置してもらい、地元の協力体制を作っていきたい。</p> <p>→ ボランティアの見守り隊の皆様には感謝している。信号の要望もあるが、警察の予算の関係で難しい。引き続き県に要望しながら、当面は指導員を配置できるよう、来年度に向けて検討させていただく。</p>	
<p>④ 安心安全のまちづくりは大切である。地域内では防犯灯が道路の照明の代わりになっているが、防犯灯は低くて小さいため、夜間になると暗い。街路灯があると安全も確保できるので、順次計画的に設置してもらいたい。</p> <p>→ 街路灯については、新規要望があれば、現場を確認し設置することになってい</p>	

る。LEDを設置させていただく。

- ⑤ 空き家対策は、第1には所有者が対応することだが、離れていると管理が大変である。中には老朽化しているところもあるが、壊すと固定資産税が高くなるなどの問題もある。行政が積極的に関わり、市に譲る、借り上げる、ポケットパーク・憩いの場・除雪の雪の押し場所での利用等、アイデアを出していく必要があるのではないか。

→ 自治体によっては、そういう取り組みをしているところもある。個人の財産なので、所有者が管理するのが基本であるが、管理が行き届かないところもある。所有者の了解を得て、行政が環境整備のために手を加えることも必要になってきているが、ケースバイケースで対応が違ってくる。税制も含め、来年に向けて対応を検討していきたい。

- ⑥ 生ゴミの回収で、カラスがつついて散らかっているときがあるが、きれいに掃除していく業者と、そのままの業者がいる。運転手によって違うのか。

→ こういう話があったことを伝えておく。

- ⑦ 孫の保育所入所の際、西根地区に居住しているのに、にしね保育所に入れず、第3希望に入所した。にしね保育所は場所が便利で、他地区から通勤途中に子供を置いていくなど、地区外から入っている子もおり、検討して欲しい。

→ できれば第1希望に入れるよう今研究している。にしね・みなみ保育所などの幼稚園で運営している保育所に人気があるようで、場所的にも便利がいいようだ。十分検討させてください。

- ⑧ 多面的機能支払交付金事業（農林課）で、320万円位の交付金で動いている。その内、半分位しか支払われず、残りは2月頃（去年は3月だった。）になるようだ。借金してまで事業を展開したくないので、残りの交付金を早急にいただきたい。

→ 少しでも交付できるよう検討させてください。

- ⑨ 下河原集落センターから112号線の所に、昔赤色回転等があったと思うが、市道西根前川原2号線からバイパスに抜けるところは事故多発地帯のため、赤色灯を設置して欲しい。

→ 状況を聞いて、検討させていただく。

⑩ 更生保護に関わっているが、犯罪を犯した人が立ち直るには、住む場所と働く場所の確保が非常に大切である。正規雇用は難しく、派遣会社に登録して働けば会社のアパートに入ることができるが、6か月で出され更生も難しくなっている。一般の若い人も正規社員で入れなく、人生設計や生活設計が立てられず、先が見えないため結婚もできず、子供もつぐれない。正規雇用ができるよう、国や県に要望して欲しい。

→ 雇用の課題が底辺にある。正規の職について将来の展望ができることは、少子化対策にも大事である。雇用の問題は国の問題でもあるが、県にもお願いし、我々ができるところを対応していきたい。安心して働ける企業を育て、誘致を進め、支援していくことなど、取り組ませていただきたい。

⑪ 介護施設は順番待ちで、なかなか入れない。各地域に1カ所位は入所施設を設置する働きかけをして欲しい。

→ 施設に入りたくとも入れない要介護の高齢者や、早めに申し込んでいる人も多くいる。今の介護の計画は今年度で終わり、新たな計画の中で特養のベッド数などを決めていくので検討中である。特養のベッド数については、さらに増やすことが必要だと思っている。また、特養まで大きくなくとも、宅老所的なものも増えているが、県の許可で認められるので、市では把握できない。施設やベッド数を増やすことは、介護保険料の値上げにつながるものが予想されるので、そのバランスが大事である。説明し、理解を得ながら計画を作っていくことになる。

⑫ 人口が減少してくれば、将来像を考えると行政も効率的な運営を迫られることになる。市町村合併の話が、これからまた出てくることも考えられる。市長の考えはどうか。

→ 西郡の他町は、将来人口が半分位になるとの予想もあり、今と同じ行政サービスが提供できるのかを考えれば、行政も枠組みを大きくして効率化していく必要があると思う。ただし、市町村合併は首長だけ手を組んでも、うまくまとまらない。最後は住民感情が入ってくるので、説得が必要である。数字だけを見れば、必然的になってくると思う。

⑬ 市制施行60周年を迎えたが、山形県は昭和の合併が進んだために、平成の合併は進まなかった。大きくなるのが良いということだけでなく、小さくても良いのではないか。

→ 平成の合併では、山形県では市町が多く残った。今後、財政の状況がどうなるか。財政問題と同時に人口問題がどうなっていくかだが、合併については役所が考えるのではなく、地域住民の方が自ら町を考えていくものと思う。

